

月刊 島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島

Vol.4 2008 11/1

島の水辺は
年中アツい。





クルマ飛ばして出かけずとも。
週末も中之島を使いこなすのが真の島民。
美術館だけでなく、老松町のギャラリーまで足を延ばして
アートを巡り、昼は公園でお弁当食べるもよし、
レトロな公会堂のレストランでお茶するもよし。
平日とは違う時間が流れる休日の中之島を堪能すべし。

「水都大阪2009」のための実験イベントとして10月いっぱい行われていた「北浜テラス」。川沿いのカフェや蕎麦屋に「床」を作る、まさに水辺を実感できるものだった。写真は泉州地魚料理【十六夜】。



外で食べる昼メシは、2割増しに旨い。
名付けて「水辺ランチ」。気持ちよく食べる場所を知っていることも重要だが、テイクアウトできる店の引き出しが多いというのが島民たるもの。
天気がよければ、経験上12月中旬までは気持ちよく食べられるはず。



Mr.グッドリバー・中谷ノボルと歩く

中之島「水辺のアルバム」。

すぐそこに水辺があることの「ありがたみ」をどれくらい感じているだろうか。
水辺マニアの代表選手・中谷ノボルさんに、
中之島だからこそ、の水辺の使い方を案内してもらった。



予約不要・使い方自由。

屋外の写生や趣味のカメラ撮影はもちろん、バンドやダンスの練習スタジオ代わり、あるいは読書や集中したいときの仕事場として水辺は使われている。
個人的にはフェスティバルホール南の錦橋、天満警察前の「若松の浜」がお薦め。
漫才の稽古に遭遇するのも大阪ならでは？



動物に癒される。

写真は淀屋橋下に佇むアオサギ。
大都会の水辺を大きな羽を振って飛ぶ姿は圧巻です。
カモやカモメなど水鳥のほか、亀にウナギ、
そしてカニやエビまで生息する中之島の水辺。
奈良の鹿には及ばずとも、生き物とふれあえるのである。





10月に行われた、淀屋橋のミズノが主催する「ランニングクリニック」というイベント。冷たい雨の日にもかかわらず、ランナーたちは快走。公会堂の前を通り、島を東へと向かっていった。



中之島は「絶景」の名産地だ。

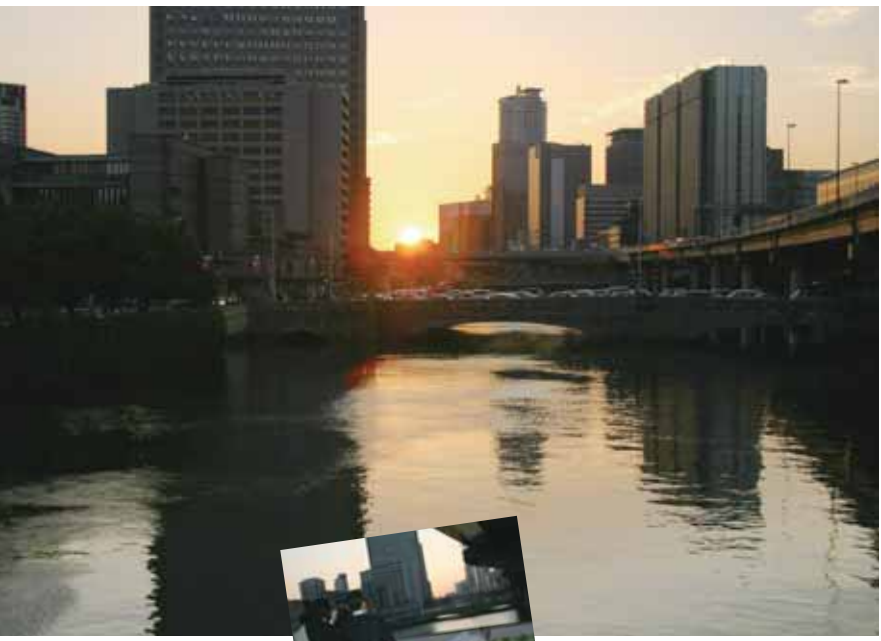
中谷ノボル

海に沈む夕日が好きなので、よく西向きの水辺がある街を旅する。最近ではスリランカのかつての首都コロンボ。スリランカはインドの南東に浮かぶ北海道ほどの「島」で、大阪ほどではないものの、ビルが建ち並ぶけっこうな都会だ。

この街では夕方になると何処からともなく人々が海岸近くに集まってくる。友達とおしゃべりする女子高生や孫を連れて散歩の爺さん、そして独りの青年まで様々だが、みんなインド洋に沈む日没のスペクタクルショーを見にやっ

走る、こぐ、釣る。

東西3キロほどの中之島は絶好のスポーツアイランド。島の東には、南天満公園から大阪城公園までつながる、大都会のグリーンベルトが続いている。ラン、ボート、カヌー、スケボー、フィッシングなどなど。さらにスイムまでできればホント最高なんやけどね。



ポケットに入れておきたい水辺文庫

散歩の足をとめて、しばし休憩。あるいは喫茶店でコーヒーと共に…。一息入れたい時のショーストーリーを。
文／青木雅幸 大迫 力 松本 創(以上本誌)



『日本の川を旅する—カヌー単独行—』 野田知佑(新潮文庫・540円)

日本のカヌーイスト第一人者の著者の旅ルボもの。カヌー(本書では主にファルト・ボート)は目線が限りなく川面の近く見慣れない角度で両岸の風景が後ろに流れていく。理想としてはカヌーの上で読むのが好ましいが、それは難しいので疑似体験として水上バス(アクアライナー)に乗ってゆっくりとページを進むのがおすすめ。ただし船酔いには注意。

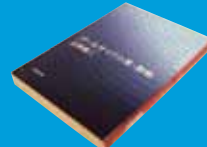


『泥の河 螢川 道頓堀川』 宮本 輝(ちくま文庫・840円)

「堂島川と土佐堀川がひとつになり、安治川と名を変えて…」書き出しからしてまさに島民の課題図書と言える「泥の河」には、主人公と安治川に浮かぶ舟に暮らす兄弟との交流の隙間に、昭和30年代の中之島の風景が叙情たっぷりに書き込まれる。また、中編ではあるが、富山が舞台の芥川賞受賞作「壱川」、ネオン街の愛憎劇を描く「道頓堀川」も収録。場所も趣も異なる「川三部作」に、川のあるところドラマあり、の感慨は深い。

『家守綺譚』 梨木香歩(新潮文庫・380円)

売れない作家・綿貫は、亡くなった親友の家の「家守」となる。縁側のすぐ前には池。その「水辺」で起こる出来事の不思議に可笑しいことといったら、サルスベリの本に初められるわ、白木蓮はタツノオトシゴを身ごもるわ、飼犬は河童と懇ろに…。たとえば休日、水と緑に囲まれた遊歩道のベンチあたりで読んだりすれば臨場感たっぷり(か?)。



『プールサイド小景・静物』 庄野潤三(新潮文庫・500円)

表題の一つは、かつて中之島にあった朝日放送でラジオ番組を制作していた「島民作家」の芥川賞受賞作。会社をクビになった夫は、突如訪れた休暇を子供とプールに出かけて過ごす。夫の心を探りあぐね、不安に苛まれる妻。水面に小波が立つように、家族に危機が忍び寄る。同趣向の「舞踏」では海の絵、「静物」では釣堀と、やはり印象的な水辺の描写が。

『River: the joni letters』 ハービー・ハンコック

現代ジャズ・シーンを牽引するピアニストの最新作にして、2008年グラミー賞の最優秀アルバムに輝いた本作のタイトルは、ずばり「リバー」。孤高のシンガーソングライター、ジョニ・ミッチェルへの愛と敬意あふれるトリビュート盤だ。新旧の女性シンガーたちを迎え、クールに、叙情的に彼女の歌世界をリメイク。クリスマス間近の川辺に物想うタイトル曲は、水晶橋あたりで冬の陽を浴びながら、ずっと聴いていたい。



i-podに入れておきたい川べりのジャズ盤

中之島の秋を歩くならBGMはシブく、ジャズ盤はいかが。NYのセントラルパークにたたずむ気分で…。
文／松本 創(本誌)



『Portrait in Jazz』 ビル・エヴァンス

繊細なピアノ詩人と夭折の天才ベーシストが緊張感あふれるインタープレイを繰り広げる本作は、モダンジャズ入門編にも最適な、ピアノトリオの決定盤。「枯葉」の名演は中之島の秋をより鮮やかに、リリカルに演出してくれるだろう…が、なぜこれが川べりのBGMなのか。それは、名門レーベル「リバーサイド」を代表する作品だからなんですね。



『moon dance』 アン・サリー

大陸の水都を美しくもはかなげに描いた戦前の名歌「蘇州夜曲」。西條八十の歌詞にメロディーを付けたのは、大阪が生んだ和製ポップスの巨匠、服部良一。60年以上の時を経て、ボサノバの歌姫が新たな息吹を吹き込んだ。やわらかく透き通る珠玉の名唱。夜に浮かび上がる中央公会堂を望みながら、この人に耳元でささやかれたりしたら、確実に昇天でしょう。



なかに・のぼる 建築家、リンベーション集団「アーアンドクラフト」代表。大阪の街そして水辺をこよなく愛する熱血漢。最近では本業以外に、観光行政への発言の機会も増えてきた。本誌では中之島の川にまつわる仕事人と語ろう「Mr.グッドリバー」を採せ」連載中。



すぐに帰っちゃもつたいない。

5時になったら即、駅や繁華街へ直行って人、たまには「島の絶景」を拝みに寄り道しましょう。生唾モノの夕日は、水晶橋や天神橋からゲット。公会堂のライトアップは、対岸の岸辺から引きで見るのが通。愛を語りたい人にもおすすめする隠れスポットである。



アクアライナー 【なにわ3号】

総トン数35トン／長さ28.5m／速力8ノット

屋根が上下する仕掛けで1983年に登場し大阪市民の度肝を抜いた、島民にはおなじみの水上バス。中之島から桜ノ宮を周遊する20分おきの定期便は予約なしで気軽に乗れる。先ごろ八軒家浜船着場が開港し、ますます便利に。毎日運航、約60分周遊（大人1,700円、小人800円）。☎06-6942-5511（大阪水上バス）

みんな僕のことは知ってるよね

食事も音楽も楽しめるわよ



グルメ・ミュージック船 【ひまわり】

総トン数54トン／長さ30.0m／速力5.5ノット

ブルーの豪華客船は島民のあこがれ。帝国ホテルの料理を味わいながら、ぜいたくなクルーズが楽しめる。ランチ（4,725円〜）、アフタヌーン（2,625円）、ピアノの生演奏が楽しめるディナー（8,925円）といったコースも充実（要予約）。OAP港から出港。☎06-6942-5511（大阪水上バス）

臨場感ならボクが一番だよ！



アクアmini 【水都号】

総トン数5トン未満／長さ9.5m／速力15ノット

屋根のない小型船はオープンカーのような開放感で、橋上からのコール&レスポンスが楽しい。橋をくぐる時には独特の緊張感が漂う。大阪城公園・道頓堀間を土日祝だけ運航するクルーズは、残念ながら現在河川工事のため運休中（運航再開は来春の予定）。☎06-6942-5511（大阪水上バス）

現代版「三十石船」とはオレのこと



のりもの

河川水面清掃船 【第六清河丸】

総トン数4.9トン／長さ9.4m／速力9ノット

島の水辺を陰で支える「働く船」。大阪市環境局が運航する作業船は水面の藻やゴミを拾いながら大阪の川を駆け回る。目下の大敵は急速に繁殖する水草、ウォーターレタスだとか。コンベア船と連隊を組んで1日2便、土佐堀・堂島川をすすむ姿に「ご苦労さます」と声をかけたい。



川にゴミ捨てちゃいけないぜ

橋を渡るときにときおり出会える水辺の乗り物。船名を覚えて欄干から軽く乗客に手をふるのが、ジェントル島民の流儀である。

吾輩には落語家も乗ってるのであ〜る

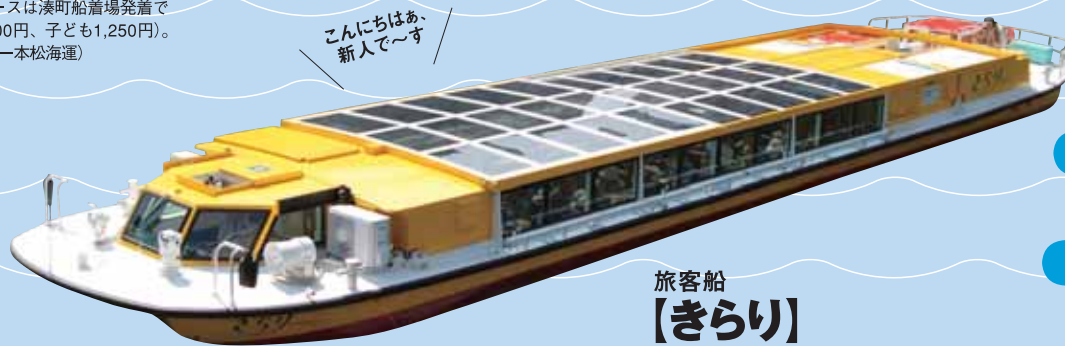


旅客船 【キングリバー】

総トン数19トン／長さ21.85m／速力9ノット

2003年のデビューから早くも昨秋、乗船者が10万人に達した人気クルーズ「落語家と行くなにわ探検クルーズ」。落語家の軽快な語り口に乗りすすむ船だけあり、オープンになった天井から笑い声が聞こえることも。中之島・大阪城コースは湊町船着場発着で約105分（大人2,500円、子ども1,250円）。☎06-6441-0532（一本松海運）

こんにちはあ、新人で〜す



旅客船 【きらり】

総トン数19トン／長さ20.83m／速力9ノット

鮮やかなイエローの新型船は、ガラス張りの天井がフルオープンする仕掛けで今年9月にデビューしたばかり。キングリバーと同様、「落語家と行くなにわ探検クルーズ」で活躍中。船名は一般からの公募で「水都の光になってほしい」と願いを込めて選ばれた。☎06-6441-0532（一本松海運）

飲み過ぎには気をつけないかんで



宴会専用船 【大阪屋形船】

総トン数16トン／長さ12m／速力8ノット

ルーツは平安貴族の小船遊びにあり、の宴会専用船。八軒家浜を出て、東は都島、西は中央公会堂あたりまで。カラオケ10曲、ドリンク飲み放題。水上だから多少羽目を外してもOK。ただし、川に落ちぬよう。データはP8

水辺の一服。

取材・文／大迫 力(本誌)

ティーサロン&バー カルチェラタン

「暗くなってライトの灯りだけになっていく頃が好き」。窓の外の風景は時間によって全然違うと話す中津由紀さん。淀屋橋のカフェに10年間勤めたあと、土佐堀川にかかる常安橋のたもとに念願の喫茶店をオープンした。実はこのビルが建った31年前から、ここには喫茶店があった。カウンターなど一部のインテリアは残している。そのせいもあってか、店が変わったことに気づかずにくつろぐお客さんも多いそうだ。「20年前に住友病院によく来られていた方が、ふと思い出していらしゃったり」。中之島ならではのご縁を得て、時間を重ねることの大切さを実感している。

モーニングにランチ、夜にはお酒が飲めるのもありがたい。中津さんの集めたアンティークカップで出される紅茶は450円〜。☎06-6225-0007 9:00AM~10:00PM(日曜11:00AM~6:00PM) 土曜休



東洋陶磁美術館 ティールーム サロン

美術館のすぐ脇、小さな入口を入るとガラス張りの喫茶室が。植え込みの向こうにはエメラルドグリーンの銚流橋もよく見える。「景観のこともあって、目立つといかないみたいで」と、お店の方は苦笑するが、毎週日曜日にやって来るご近所島民や「忙しくなるから誰にも教えず一人で来る」常客たちが、心静かに水辺の一服を楽しんでいる。「陶磁器の美術館ですから」と、コーヒーや紅茶はロイヤルコペンハーゲンのカップでいただける。人気のバラゼリーの盛り付けもやはりアーティスティックだ。

アイスクリーム付きのバラゼリーは600円。コーヒー400円。美術館では現在、「酒器に酔うー東アジアの酒文化」を開催中。☎06-6226-4176 10:00AM~5:00PM 月曜休(※美術館休館時も営業)



川の安全はお任せ下さい。 【大阪水上安全協会】

ジェットスキー、レガッタ、砂や砂糖を運ぶ船(はしけ)…島を行き交う船は様々だ。大阪の河川で運航する46の団体が加盟する大阪水上安全協会は、水辺の安全を守るため1985年に設立された。「川は誰でも自由に通れるから、事故を防ぐには日頃からきちんと連絡を取りあわないかんのですわ」というのは事務局長の岡崎和清さん。年に6回程度の会議と新年には天満宮での安全祈願祭を欠かさない。今年からは公共船着場の管理運営も手がけるようになった。船で島に上陸する際は、必ず一報を入れるべし。



NPO法人大阪水上安全協会

「私は裏方ながら写真だけは勘弁して」と恐縮する岡崎さんに無理を言ってご登場いただいた。☎06-6942-7788 suijo-anzen.jp



年中無休の水上宴会。

【大阪屋形船】

春は花見、夏は納涼、冬は忘年会に新年会。季節によって名目は違えど、年中賑わう水上宴会。「会社の飲み会が多いですが、観光コースや結婚式の二次会にもご利用いただいています」と、船長の寺澤浩通さん。大阪屋形船の社長さんである。もとは居酒屋を経営していたが、「船の操縦を仕事にしたい」と華麗なる転身を図った。

両岸に桜が咲き誇る春がいちばんの書き入れ時。堀ごたつの船内に最大50人を乗せ、2〜3時間の航海を1日4回こなす。料理にお酒にカラオケに…と、スタッフはてんてこ舞い。でも、「お客さんには川を吹く風と対岸の景色を優雅に楽しんでほしいですね」。

大阪屋形船

人数、時季、時間によって料金が異なる。11月の夜は25人未満の2時間コースで一人8,925円。☎0120-0489-14



川のある物件専門です。

【水辺不動産】

水辺不動産が扱う物件の条件はただひとつ。部屋から水面が見えること。一風変わった方針は「大阪の水辺に賑わいを取り戻したいという思いで掲げています」と、代表の末村巧さんはいう。

かつて大阪の発展を支えた川や水路は、車の普及や水質の汚染とともに役割を終え、一時は見向きもされなかった。安治川の近くで育った末村さんも、「子供の頃、川は近づいたらあかん場所でした」。水辺に建つビルも、川に面した部屋に窓がなかったり、あっても物置扱いの所が多かったという。

だが10年ほど前、「せっかくの水辺景観を街に活かせないか」と考え始めた人たちがいた。末村さんとその仲間たち、後にNPO「水辺のまち再生プロジェクト」を設立する面々だ。さまざまな企画を通じて目指したのは、一過性のイベント的賑わいではなく、「日常空間としての水辺」をつくり出すこと。ならば、

まず水辺で生活する人を増やそう…と、物件の仲介事業を立ち上げたのだった。

取扱物件は中之島界隈や東横堀川沿いが多いが、市内の川や池のほとり、海辺まで広くカバーする。「最近“水辺にある”ことを物件の好条件として着目する人が増えてきました。入居する方もオーナーさんも」と末村さん。家賃が高騰する前に、とりえずHPをチェックした方が良さそうである。



水辺不動産

オフィス、店舗、住宅などさまざまなタイプあり。中之島の家賃相場は「安ければ坪8,000〜9,000円」。HPはwww.mizube-fudosan.com/。☎06-6444-2366(水・日曜休)

川を舞台に仕事をする人が多いのも中之島だからこそ。川とは切っても切れないこの街を支えてくれている、水辺の仕事をご紹介します。



水辺図鑑

「水の都」という言葉が初めて出版物に登場したのは100年ほど前、明治41年に出版された『児童叢書おほさか地理の巻』という本です。歴史的に考えればそれほど古いことではありませんが、水との関わりを考えれば、古代から「水の都」ではありました。

水との関わりは古代から不変。「大阪」の範囲をどう捉えるか。

都を中心とする地域は、古代には「畿内（五畿内）」と呼んでいました。そのうちの和泉・河内・摂津はすべて大阪湾沿岸及び河川の流域。つまり都のあった京都・奈良と肩を並べる国家の中心として位置づけられていたということです。その理由はやはり海に面していたから。中国から文物が入ってくる場合は、大阪湾が玄関口となり、淀川・大和川をさかのぼってやって来ます。

港を持たない京都や奈良の「外港」として機能していたんですね。

また、大阪は国内物流の拠点でもありました。都へ荷物を運ぶ際には、海を渡ってきた船から川船に積み替える必要がある。その場合、一度陸地に荷揚げをしますから、倉庫もたくさんできるわけです。物流と倉庫という2つの役割は古墳時代から近世に到るまで、大阪を支えることになります。ですから「大阪」という言葉を大阪湾沿岸から淀川流域と捉えれば、大阪は常に「水の都」であったと言えるでしょう。

幕府との関係で、大坂の役割が変わってきた。

江戸時代に入ると、少しあり方が変わってきます。幕府が江戸へ移ったとはいえ、産業は近畿地方が圧倒的に先進地域。近畿で作ったものを関東方面

へ運ぶ必要が生じるようになります。そこで幕府は大坂に物流拠点としての役割を与えます（この場合の大坂は先述の広い範囲ではなく、中之島を含む淀川の河口にかけての「二帯とお考え下さい」）。

物流拠点になると言っても、すぐに中之島周辺に蔵屋敷が建ち並び始めたわけではありません。現在の安治川の河口には九条島と呼ばれる島があり、

水の流れを妨げていました。その開削を経て、いわば「インフラ整備」を行って安治川の河口が水上交通のターミナルとなるのです。

何よりも江戸時代に入って一番に行われたのは、商業機能の充実よりもまずは大坂城の再建、そして城下町Ⅱ街場の再建でした。そのための木材は中国地方や四国の土佐から、木津川を使って大坂の街へと運んできました。し

水都、水都と言うけれど…
「水なんの都？」って

「大阪の街は古くから水の都と呼ばれ…」
「今まで何度も何度も耳にし、口に出してもきたが、実はそんなに古くからあった言葉ではないらしい。そこのところ、野高先生、教えてください。」

大阪市史編纂所
大阪市史料調査会
野高宏之



貞享4年（1687）に描かれた「新撰増補 大坂大絵図」（大阪歴史博物館）を見て、運河が張りめぐられ、橋があちこちにかかる様子がよく分かる。



たがって、最初に各藩の屋敷や蔵が建ち始めるのは木津川の流域（現在の西区と中央区西部周辺）でした。白髪橋や鯉座橋、阿波座といった四国由来の地名が残っているのはそのためです。

さて、ここでようやく中之島が登場します。幸いなことに手つかずだった中之島に、各藩の蔵屋敷が建てられていきます。年貢米や特産品などを集めておいて、出入りの商人に頼んでお金に換えてもらうのです。

江戸時代も後半になってくると全国各地で商品経済が発達してきますから、わざわざ大坂へ持って来なくても良いわけです。実際に商品の集まるパーセンテージは減っているのですが、それでもなお中之島周辺では蔵屋敷の数が増え続けます。新しい特産品を全国市場にのせるにはやはり、大坂のブランド力が必要だったのです。また「大名貸し」といって大坂の商人たちが蔵屋敷の米や特産品を担保に気前よくお金

を融通してくれるからという背景もありました。

中之島は水都の中心ではなく、「象徴」と呼ぶべき。

こうして考えていくと、中之島は「水の都」の中心というより象徴と呼ぶべきでしょう。江戸時代はお米を中心とした経済です。その意味で、対岸の堂島米市場とセットにして、中之島そして蔵屋敷は大坂を象徴する存在と言えます。

ます。地図を見ても分かるとおり、大坂の街には運河が張り巡らされ、八百八橋と数えられるほど多くの橋が架かっています。そのような光景が「水の都」と呼ばれ、中之島はその象徴として機能してきたと言えるでしょう。

のだか・ひろゆき 大阪市史料調査会にて中世から近世にかけての史料の収集・研究に携わる。共著に「近世大坂の法と社会」（2007年・清文堂出版）。1958年兵庫県生まれ。同志社大学大学院博士課程前期修了。

で、21世紀の「水都」と言えば…「水都大阪2009」って？

来年、中之島界隈で行われるらしいこのイベント。ニュースでもよく耳にするが、これって、ナニ？ 事務局長の室井明さんに、気になることを聞いてきた。



Q そもそもどういう主旨なのですか？

A 今年から来年にかけて、中之島公園や八軒家浜などの整備が進みます。それを契機に大阪を「水都大阪」としてブランド化していこうと、中之島界隈や水の回廊（堂島川・土佐堀川、東横堀川、道頓堀川、木津川からなる、口の字型の川のつながり）で、様々な街づくり型イベントを実施する予定です。昨年の5月に大阪市長を会長として、府や市、経済界などからなる実行委員会が発足しました。

Q いつからいつまで、何をやるの？

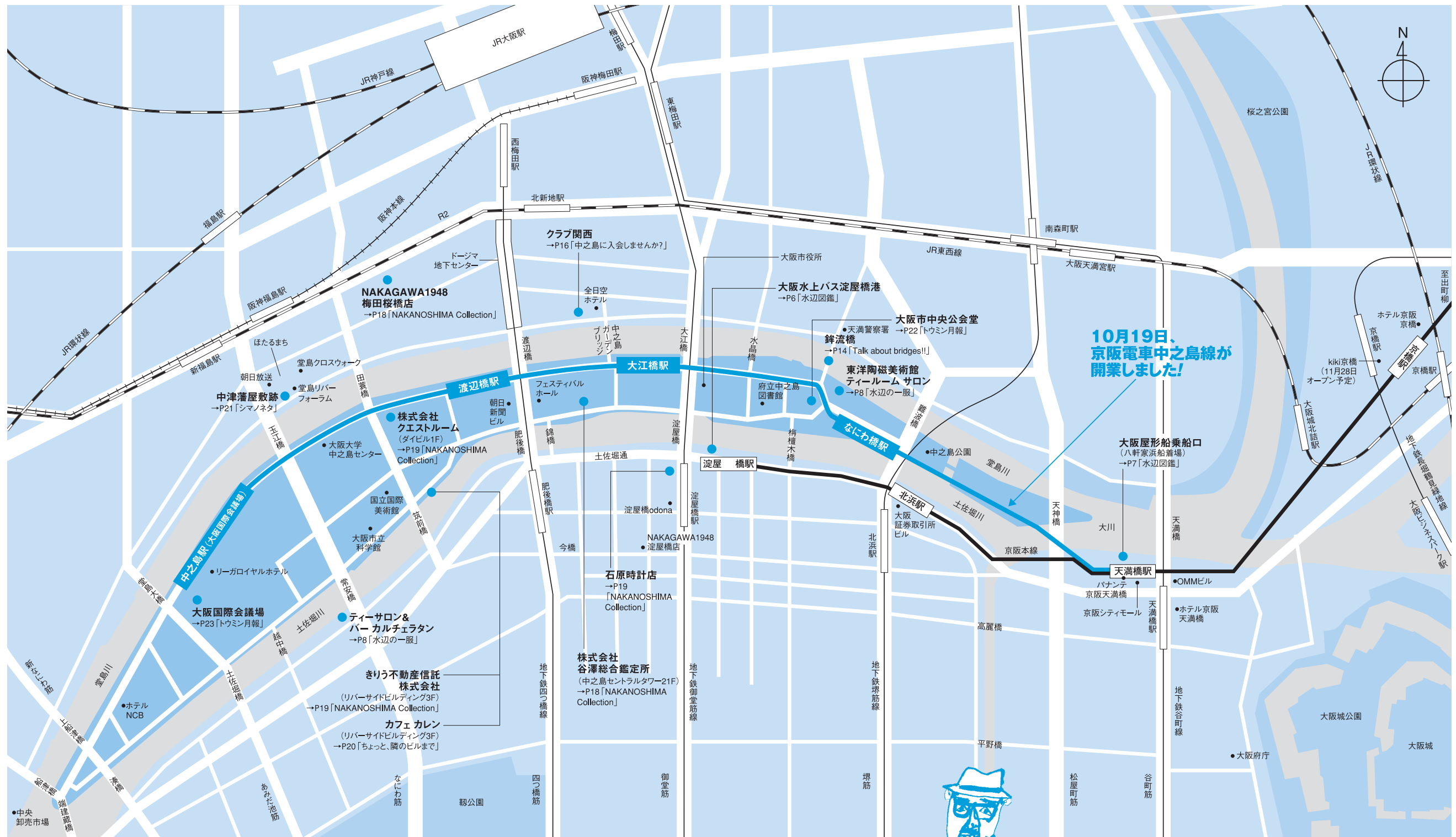
A 期間は2009年8月22日～10月12日。主な実施内容としては、天神橋、難波橋、錦橋などのライトアップを行い、水辺を楽しむための景観と賑わい作りを行います。例えば北浜周辺では「北浜テラス」という川床を設置。界隈の飲食店に協力してもらい、お酒や食事を味わいながら水辺を満喫してもらえます。水辺を基点とした「クルーズ&ウォーク」も実施します。船から街を眺めた後、実際にその街を歩いてみるんです。また、中之島公園・八軒家浜ではアート、ワークショップ、朝市なども予定しています。

Q 一過性のものになるのでは？

A もちろん成果を将来に継承・継続していくことを目指しています。市民が主役になることを基本コンセプトに、市民やNPOと協働しながら、イベント終了後も継続できる仕組みを探っているところです。

Q 正直、行政主導のイベントに期待は薄いのですが…

A この秋からイベントのプロモーションを行って、「水都大阪」の認知度も高めていく予定です。今回の開催を軸にして大阪のイメージチェンジに挑戦します。大阪のブランド力の向上と水辺の賑わい作りを目指していますので、島民の皆さんもぜひご協力ください！



大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、みんな「島民」です!

平塚桂（以下、桂） 天神祭のときに、鉾流しの神事が行われる橋です。たかぎみ江（以下、み江） 鉾流しの神事ってなんですか？

桂 天神祭の宵宮（毎年7月24日）に神鉾を川に流す行事です。始まりは天曆3年（949年）とも伝えられる長い歴史を誇るそうです。

み江 何やら由緒ありげですね。

桂 でも、ここにはじめて橋ができたのは大正時代で、この橋の完成は1929年。その翌年から、中断していた鉾流しの神事が復活したそうです。

み江 名前のイメージに反して、案外新しいわけですね。

桂 でも外見적으로는むしろ見た目より古くてビックリ。隣にある水晶橋と同じ年。なんと淀屋橋より年上ですよ。

み江 その歳にしては、ちょっとエメラルドグリーンの橋桁が鮮やかすぎですね。

桂 様式とは無縁のそつけないデザインのせいか新しく見えますが、実は結構歳をくっているんです。

み江 その見事なアンチエイジングぶり、見習いたいもんです。

桂 形式としては中央の桁が両端の桁に乗っかるゲルバー橋なんです。真ん中の桁下のカーブがきれいな弧を描いているのが特徴。一般的なもののより中央部が薄くてすっきりしてるから、繊細な印象がありますね。

み江 ようはスタイルがいいんですね。スリムだけど、くびれはしっかりあるモデル体型という感じで。

桂 その美しい骨格自体はオリジナルですが、高欄や照明灯などの飾りは戦争の金属供出などで撤去されてしまいました。

み江 そのせいか、妙にいろんなデザイン要素が混ざってますね。本体は機能主義そのもの。でも歩道や欄干、照明灯は洋風です。

桂 飾り物は1980年、大阪市中央公会堂などが並ぶクラシカルな雰囲気にあわせて洋風に改められたそうです。み江 このへんにある建造物は、みんな公会堂には逆らえないですね。

川に向かって構えるシュールな鳥居。この先にある河川敷から船を出し、神鉾を流す。

大阪市中央公会堂の階段室手すりとおそろいのデザインに改修。

大阪市中央公会堂や府立中之島図書館とおそろいの、丸形グローブ球の照明灯。

Talk about bridges!!

橋の話をしよう④

鉾流橋

文／ぼむ企画
絵／綱本武雄（本誌）

優美な曲線を描く鋼桁アーチ。両側から突き出た桁に中央の桁が乗っかるゲルバー橋。

桂 中之島最強のカリスマ建築ですから、でも石造りの親柱は、昔のままの姿で反骨心を見せています。灯籠ふうの照明灯が付いてますが、こちらは鉾流しの神事にあわせて和風だとか。

み江 一方で神事の場合もあるから和な要素も取り入れたい、と。

桂 複雑な家庭環境に生まれて気づかいて重ねた苦勞人のような趣です。

み江 さらに上空からは阪神高速がブレッシャーを掛けてくるという。

桂 何というか、けなげですね。

み江 そんな浪花節の似合う橋の、ベストビューは天満警察署前からでキマリです。

桂 これまた緊張感のあるシチュエーションですね。

み江 鳥居、橋、大阪市中央公会堂のトリプルコンビに阪神高速まで加わる、パンチの効いた風景が楽しめますよ。

ぼむきく たかぎみ江、平塚桂の2人による建築ライターユニット。カーサ・ブルータス^{※1}ほかの雑誌にも執筆。「けんちく家対決」や「けんちく雑誌ガイド」など独断と偏見に満ちたコンテンツの溢れるHPも必見。

※1 天神祭
全国の天満宮および天神社で行われる祭りだが、ここでは大阪天満宮を中心とする天神祭を指す。川をステージに船が行き交う水都大阪を象徴する祭り。

※2 水晶橋

大きなアーチに小さなアーチを組み合わせたシンブルかつインパクトの強いデザイン。瀟洒な姿ながら可動環の機能を内蔵する歩行者専用橋。第3回参照。

※3 淀屋橋

1935年完成。中之島北岸の大江橋とあわせて公衆によりデザインを決定。クラシカルな雰囲気と高い人気を誇るコンクリートアーチ橋。第1回参照。

※4 ゲルバー橋

その名はドイツ人発案者由来。両側から張り出す桁に、中央の桁が乗っかる形式の橋で、橋脚同士の距離を長くしても桁厚を薄くできる等の利点がある。

※5 大阪市中央公会堂

1918年完成。大きなアーチ屋根と赤レンガが目印の中之島のシンボル。2002年完成の大規模な改修工事を経てさらに華やかな存在感パワーアップ。

鉾流橋

1929年完成。緑色の鋼桁がトレードマークのゲルバー橋。天神祭の際に行われる鉾流しの神事から鉾流橋と呼ばれる。1980年に改装・拡幅され、クラシカルな高欄や照明灯、レンガ敷きの歩道などが整備された。全長98.2m。

中之島に「入会」しませんか？

取材・文／大迫 力（本誌）



照明や絨毯などに用いられる桜のモチーフが気品を与える。会議や食事に使われる個室が1・2階に3室ずつ。どの部屋も贅沢に空間を使っている。

number. 0003

クラブ関西

大阪の復興を目指し、若き企業人は集った。

新進気鋭、と言うと語弊があるかもしれないが、中之島界限にある紳士倶楽部の中では比較的新しい昭和23年の創立。戦争により荒廃した大阪の経済をいち早く復興させるべく、当時、堂島に住んでいた実業家が、若い財界人の集う場所にと私邸の敷地内にビルを建てたのがその創始だ。「占領軍の統治政策により、どの企業のトップも一氣に若返ることになった。再建を担う彼らに情報交換・交流の場を与えたかったでしょう」と専務理事の鈴木昭男さんは話す。

復興の氣運に乗り、39社だった会員数は瞬く間に増えていった。伊藤武雄大阪商船社長、鈴木剛住友銀行頭取、近鉄の佐伯勇氏が設立当初は一番の若手だったそうだ。「ホテルもレストランもなく、人が集まれる場所自体が少なかった」時代、若き企業人たちはこぞって足を運んだのだろう。

現在の会員数は100数社300名弱とこじんまりとはしているものの、「その分、安心して足を運び、ゆったりくつろいで頂ける場になれば」と鈴木さん。法人登録制の倶楽部らしく、企業同士の会合や海外からの来客の接待の場に選ばれることが多いそう。大阪復興を掲げて集った先駆者たちの氣概に重なるように見える。

◎入会資格

会員企業2社の推薦が必要で、個人ではなく企業単位で登録し、そのうち数名が利用するという形が多い。基本的に会員以外は入館できないが、「見学や食事メニューの紹介なども考えたい」と、今後のあり方を検討しているそう。☎06-6341-5031



2階のホール（左）では毎週木曜日に定例の講演会が行われている。食事はすべてクラブに勤務するフレンチシェフが提供するのが特徴的。現在の建物は昭和59年に新装されたもので、設計は大阪市役所や日銀大阪支店新館を手がけた日建設計の葉袋（みない）公明。設立時の旧館は板倉淳三設計。

●質問その一

「お金儲けは悪いことですか？」と、目をむいて声を荒らげる人がいましたよね。この言葉の捉え方はとても難しく、正しいようにも、間違っているようにも思えます。そこで聞きたいのですが、

「お金儲け」をすることに善悪はあるのでしょうか？もしあるのなら、それはどのようなものでしょうか？

仏教的な立場からすると、どんな風にお考えになるのでしょうか。

（男・30歳・大学院研究助手）

●解答

近江商人って知ってますか？ かつて滋賀県（の一部）を拠点に各地域との商売を展開した人たちを指す言葉で、伊藤忠やワコールなんかが有名です。

近江商人はとても仏教の信心に篤いことで知られていました。仏教の信心に基づいた生活・商売を実践したからこそ、近江商人という特別の異名で呼ばれるようになったと言ってよいでしょう。近江商人のビジネス理念は「三方よし」です。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」、この三方が満足し喜ぶような商売でなければならない、そう心がけたと言います。

伊藤忠創業者の伊藤忠兵衛は「商売は菩薩行である」と言っただけです。



●質問その二

「Aさんって○○らしいよ」という噂を聞いた後に、実際にそのAさんと会ったりすると、

「○○らしい」という先入観を持って接してしまいます。それが悪い噂だったりするとなかなか厄介です。本当かどうか分からないのに播さぶられたりして、少し自分自身がイヤになったりもしてしまいます。なんとかコントロールできないかと思うのですが、良い方法はないでしょうか？ あるいは、人間ならば仕方がないと割り切るべきですか？

（男・29歳・フリーター）

●解答

なるほど、先入観を避けるのはなかなか難しいことですね。やはり、普段からのトレーニングによって、少しずつ先入観に強く支配されないことを目指すほうがいいと思います。

目指すイメージは「鏡のような心」です。仏教経典にはしばしば「鏡の譬え」が出てきます。鏡のよくな心は、仏教の理想です。鏡が歪曲してなければ、いろんな対象をそのまま映します。鏡自身は無色ですから、そのままの色を映すことができます。

でも、普通、私たちは、「自分自身の都合という枠組み」を通して、モノゴトを認識していますから、対象の姿も歪んだり、自分で勝手な色をつけたりしてしまいます。目の前にあれば、それをそのまま映す。



しゃべってっしゅう
大阪池田市にある如来寺住職、兵庫大学准教授、
仏教を日常生活の中で役立てる方法を説いたいきなりはじめる仏教生活」がベスト中。
実は朝日カルチャーセンターで講演を行う島民でもある。

無財の布施【むぎいのふせ】

金品を施すだけが布施ではありません。他者に恐れを与えない、にっこり笑う、気持ちよく接する、優しい気持ちで生き物を大切にすること、これらも自分自身が「布施行だ」という意識で常に行えば立派なお布施です。

●仏教用語の処方箋

もともと都市の発達とともに成立した仏教は、「お金儲け」が悪だとは考えませんでした。仏教は成立当初から、フェアに得たもの（つまり正当な手段で手に入れたもの）を、シェア（分配）するということをとっても大切に考えてきた宗教なのです。

というわけで、「フェアに商売をして、みんなが喜ぶようなシェアをしよう」、これです。

●仏教用語の処方箋

そして、その対象が目の前からいなくなれば、何も映らない。残像も残らない。これが仏教の理想的な精神のありようなんです。

「鏡のような心」をイメージしながら、「こうでなければならぬ」という枠組を弱くして生活するようにしてみましょう。ホンの少しづつだけど、何かが変わり始めますから。



捨ててこそ（すててこそ）

時宗を開いた。遍上人は、仏教を「捨ててこそ」と一言で表現しました。そのため、「捨聖（すてひじり）」と呼ばれました。こだわりの執着心を捨ててこそ仏教なんです。

階段教室のいちばん上の席で、せっせとマンガ描きに励む医学生。教授にバレそうになり、慌ててインク瓶をぶちまけてしまふ。「手塚くん！」。教授の怒声。「きみ、あとでわしの部屋へきなさいっ」。

手塚治虫の自伝的作品『がちゃばい一代記』のワンシーン。時は昭和22年10月、舞台は中之島に

あった大阪帝大医学専門部である。今月3日が生誕80年となる「マンガの神様」が、通い島民「だったことは、わりと知られた話だろう。医者かマンガ家かで悩んだデビュー当時の話は、ほかにもいくつかの作品やエッセイで読める。

だが、こうした断片的なエピソードだけでは、「手塚作品と中之島は意外なほど関係が深いんですよ」というのは、無類の手塚マニアであり、その足跡を追った研究誌の制作をライフワークとする田浦紀子さん。たとえば、幕末を生きた志士たちの群像を描いた晩年の傑作『陽だまりの樹』。手塚の曾祖父・良仙が、福沢諭吉らと共に学んだ北浜の適塾が舞台となる。木造の建物はビル谷間に現存し、塾生たちが豚の解体や裸で夕涼みをした物干し台もちゃんとある。



淀屋橋南詰に建つ石原時計店の社長（次頁）は、手塚の小学校の同級生。『鉄腕アトム』などに登場する「金三角」のモデルになった人だが、大変な科学少年で、手塚の昆虫や天体好きは彼の影響だったそうだ。当時最新鋭のプラネタリウムを彼に連れられて見に行ったことが、アトムや『マグマ大使』といった宇宙SFものにつながった、と田浦さん。後に『漫画天文学』という作品で詳細に描かれたドイツ製プラネタリウムの機械は、現在、中之島の大阪市立科学館に展示されている。まだまだある手塚の足跡を最近マップにまとめてみて、田浦さんは気付いたそうだ。「幕末から戦前・戦後、そして近未来まで。中之島を歩けば手塚作品の歴史がたどれてしまふ」と。

「マンガの神」の足跡をたどる マップが作られている。



近代建築好きでもある田浦さん。「建物にまつわるストーリーと手塚の物語が、中之島では結びつくんです」。

「手塚治虫と大阪」マップは、大阪商工会議所がまちあるきツアーの一環で制作。10月には田浦さんを案内役に、実際にツアーが行われた。来年の「水都2009」でも開催を検討中。問い合わせは同会議所 ☎06-6944-6323

今月のテーマ【社長】

オフィス街である中之島はすなわち社長の宝庫でもある。島にゆかりの深い社長はやはり、着こなしにも貴禄が漂う？
取材・文／青木雅幸 大迫 力（共に本誌）



谷澤総合鑑定所 代表取締役 谷澤靖隆さん(48)

不動産鑑定業は土地や建物を正當に評価する仕事です。とにかく中之島は北へも南へも出やすく、橋を渡ってすぐに北新地にご飯が食べに行けるのも、個人的に気に入ってます。



48歳ということはバブル景気とその後も重々承知の世代。このタイプのダブルのスーツって、当時流行ったんですね。不動産に関わる方々の制服と言いますが、「流儀」を思わせます。ボルシェに乗って欲しいなあ。

「中之島は大阪の中心
という感じがしますね」



クエストルーム 代表取締役 石原 卓さん(45)

雑誌や書籍の企画編集をやっています。渡辺橋を夕暮れ時に渡るとき、「ああ、大阪人やなあ…」と感慨深くなります。まさに水都大阪、その中心に中之島ありって感じです。



今でこそ「スーツを着ない職業」も市民権を得てきましたが、それを先駆けて来られただけあり、軽いように見えて重みがありますね。これも言葉という、はかなくも大きな影響力のあるものを仕事にされる方ならではのしょうか。

「バンドもマジックも
バーテンダーもやっています」



きりう不動産信託 代表取締役 桐生幸之介さん(56)

阪大の法医学教室で執務していた父の時代から、中之島に住んでいます。自宅だったこの場所にビルを建て、賃貸業を始めたのが42年前。今は不動産信託も行います。



写真では見えにくいんですが、襟の「かえり」部分のふっくらしたロール！ 仕立ての良さが一目でわかりますね。ネクタイの柄はカモですが、これもまた狩猟をたしなむヨーロッパの上流階級を思わせる品の良さを感じます。

「スーツは作業服という
戦闘服みたいなもの」



石原時計店 取締役社長 石原 実さん(79)

このビルは昭和10年、御堂筋の拡幅工事のところに建ったんです。店を心斎橋から移したのは昭和39年やから、東京オリンピックの年やね。実は時計屋自体は江戸時代、1846年からやって、私でもう4代目。最近はSEIKOさんの商品が多いね。



オールドックスなザッツ・日本のスーツですね。流行りを追いかけるわけでも、ドレスアップしようという気合が見えるわけでもないのに、一本芯の入った現役感がある。しかも会長ではなく「社長」であるからこそ良いんでしょうね。淀屋橋の三國連太郎とお呼びしたいです。



第4回

[カフェ カレン]@リバーサイドビルディング

空腹を抱えて
流れ着いた先は
川べりの喫茶店。

「ホテルはリバーサイド
…と井上陽水がヒットを飛
ばしていた20年前、[カフェ
カレン]は、寝屋川から中
之島の川べりへ移ってきた。
土佐堀川のすぐ端の、その
名もリバーサイドビルディ
ング。軟弱な地盤に建てる
ため、高速道路の橋脚の構
造を取り入れたという細長
いビルは、建築家の高岡伸

一氏をして「ここに事務所を構えたい」と言わしめた、
高度成長期の名建築である。

「中之島といえば大阪を代表する会社が集まる場所。
そこに店を出せるのがうれしかったですね」と、マ
スターの山崎智さん。銅板貼りのU字カウンター、古
いランプを模した照明などの内装も、島が優雅に輝い
ていた時代を映す。

だが、そこで繰り上げられるランチタイムの光景は、
まるで優雅とは程遠い。社員食堂に飽き足らぬサラリ
ーマンの群れが殺到し、一皿ものランチが飛び交う戦
場となる。

ひき肉と卵の標準装備に、好みのトッピングを加え
る4種類のスタミナカレー。「枕みたいデカイ」と
噂を呼ぶオムライス。ピラフは皿の上に小高い山を築く。
「寝屋川では学生さんが多かったから、うちは昔から
これが標準サイズ。働き盛りの若いサラリーマンにお
腹いっぱい食べてもらいたい」。

川沿いの名ビルの喫茶店には、きょうも空腹を抱え
た「働く島民」が続々と流れ着く。



奥はから揚げ入りのスタミナカレー
4号(650円)、手前がひき肉とほう
れん草のクリームオムライス(700円)。



山崎さんときよ子さん夫婦はいまも
寝屋川から、京阪電車の始発で店に
通う。「中之島線ができたので楽にな
りましたわ」。



高速道路の構造を取り入れたビルだ
けに、塔屋にはガードレールを使っ
た装飾。建築家の遊び心である。



カフェ カレン

市立科学館が賑わう夏休みや、国立
国際美術館で人気企画展がある期間
中は特別メニューも。モーニングも
もちろんあり。自家焙煎のコーヒー
は週ごとに豆が変わる。☎06-6441-
1863 6:30AM~6:30PM 日曜休(周
辺施設の催しにより営業の場合あり)

シマノネタ 第四回

福沢諭吉、 中之島で 大いに遊ぶ。

若者たちは一万円札のことを「ユキチ」
と言うそう。そのユキチ、実は大阪
生まれである。天保五年、堂島川に架
かる玉江橋北詰、九州中津藩蔵屋敷で
産声をあげた。

蔵屋敷勤めの父が亡くなり、一家は
中津へ帰るが、22歳の時、産まれた大
阪へ「戻り」、日本一の医学者緒方洪庵
の「適塾」に入門した。

『福翁自伝』を読むと、ユキチがいかに
大坂で自由奔放に遊び、研究してい
たかがよくわかる。難波橋南詰にあっ
た牛鍋屋は「文身だらけの町の破落戸
と緒方の書生ばかりが得意の定客」だ
ったと自慢し、市中では、ヤクザも役
人も金持ちも、こだわりなくイタズラ
をしたと白状している。

たとえば、深夜、書生仲間と難波橋

天は人の上に人を造らず
人の下に人を造らずと言えり

(学問のすゝめ)初編より抜粋



ユキチの生まれた中津藩の屋敷
跡は、現在のほたるまち。朝日
放送の社屋の前にはそれを記し
た碑がある。

上に来ると、下を金持ちが芸者に三味
線を弾かせる賑やかな船が通る。「あんな
奴があるから此方等が貧乏するのだ」と
と小皿を船に投げつけた(この小皿も
安い飲み屋からくすねてきたもの)。

御霊神社の夜店では、わざと万引き
の振りをして、テキ屋の親爺に咎めら
れると、「盗人扱いしやがった」と逆に
大騒ぎし、テキ屋を店終いさせ、「まるで
弁天小僧みたいに捏繰返した」と
喜んでいる。

また、土佐堀川に小舟を浮かべ、ア
ンモニア抽出実験に成功する。が、悪
臭が船場へ流れ込み大騒動。「天神橋、
天満橋から、ズット下の玉江橋辺まで、
上下に逃げ」たこともあった。

こんな無茶をも許す大らかさが大阪
にはあった。ユキチはこの気風を土台
とし、生涯在野に生き、「どいつもこい
つも人である」という境地に到ったの
ではなかるうか。

きょくどう・なんかい
1964年、兵庫県加古川市生まれ。大阪大学卒業
前(1989年)に三代目旭堂南庵に弟子入り。1
998年大阪市より「咲くやこの花賞」授賞。得意
ネタに「太閤記」「難波戦記」「浪花侠客伝」「天
満宮霊験記」など。



大阪の秋はピアノが似合う
中之島国際音楽祭2008
11月22〜24日の三連休には「中之島国際音楽祭2008」が大阪市中央公会堂で開かれる。3回目となる今年は「ピアノな大阪」をテーマに、クラシック奏者のリサイタルや連弾、ジャズピアノ、女性浪曲師との

共演まで、さまざまなジャンル・形式のピアノ公演を集めた。
また、大阪大学総長の鷲田清一氏の哲学トークを盛り込んだ公演や、大阪生まれの世界的なマエストロ・貴志康一の生誕百年を記念したオペレッタ、大阪4大オーケストラの首席チェロ奏者が集う四重奏など、「大阪の音楽力」を伝えるプログラムも組まれている。全13公演。各公演のチケットは1000円〜2500円。各日共通券5500円。全席自由。プログラムの詳細は、大阪市中央公会堂 ☎06・6208・2002に問い合わせるか <http://www.city.osaka.jp/yutoriiondori/rep-ot/culture/20080728.html> によ

(松本創・本誌)



「海」のイメージが強い如山氏だが、水辺つながりで川に挟まれた中之島でも大いに歌い上げていただきたい。前売り券は5000円(当日5500円)、各種チケットセンターにて発売中。

(大迫力・本誌)

中之島に到来 音楽の秋

ついに開業した
京阪電車中之島線を
祝うように
島の秋も華やど
音楽の話題をもう。



中之島線の歌がリリース、島の新定番曲となるか
ずばり新線のイメージソングとして10月8日にリリースされたのが『はじまりは中之島』。作曲は「浪速のモーツァルト」キダ・タローさん

歌うは「おけいはん」こと、女優の神農幸さん。つまり、テレビCMでおなじみ「鴨リバー音楽学院」の師弟コンビ…なんて解説は、京阪マニアには先刻承知か。

歌うは「おけいはん」こと、女優の神農幸さん。つまり、テレビCMでおなじみ「鴨リバー音楽学院」の師弟コンビ…なんて解説は、京阪マニアには先刻承知か。

歌詞に織り込んだ明るいメロディーラインは思わず口ずさみたくなる、いや、島民なら必聴必唱の、新たなスタンダードになる予感。発売元が「中之島レコーズ」、カップリング曲は京都の駅名改称による新駅名を散りばめた『鴨リバーサイド物語』と、細部まで洒落っ気が利いているのも嬉しい。全国のCD・レコード店で販売。1000円(税込)。(松本創・本誌)

中央公会堂90周年記念で 「永都」実感のイベント

中之島のランドマーク、大阪市中央公会堂は今年で開館90周年。11月にはさまざまな記念イベントが行われるが、事前申し込み不要・参加無料のものを3つピックアップ。

●企画展「針穴からのぞいた大阪」
11月15〜24日、地下1階展示室。大阪の場所や風景をピンホールカメラで撮影した写真展。撮影は、全日本写真連盟大阪府本部委員の川岸じろう氏。

●「水辺の環境展」11月16日、大ホールロビー。淀川に棲む淡水魚を紹介し、水環境保全を訴える。市水道



「針穴からのぞいた大阪」

局による「淡水魚のお話」が1・30PMと3・00PMの2回。
●「ほんまやカフェ」11月16日、大ホール前広場。水道局が売り出している高度浄水処理のおいしい水「ほんまや」で入れたお茶のサービス。ペットボトル販売もあり。

(松本創・本誌)



「水辺の環境展」



「ほんまやカフェ」

次号予告

ザ・中之島ブルース

ホテルのバーやリバーサイドのビアパブ、ビル地下の飲食街。中之島の酒場は、それぞれに「島らしさ」を漂わせつつ、しかし、どれもが全く異なる味と雰囲気を持っている。そんなシブい街は、数々の歌のモチーフともなってきた。酒に酔い、音に酔う情感溢れる特集をお楽しみに。

●『月刊 島民』vol.5は2008年12月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行／月刊島民プレス
若狹健作 網本武雄
(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 大迫 力(編集集団140B)
〒530-6591
大阪市北区中之島3-6-32 ダイビル140B
Tel.06-6445-2105 Fax.06-6445-2106
制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン／山崎慎太郎
表紙イラスト／奈路道程
印刷／佐川印刷株式会社

配布にご協力いただける方を募集しております！

(島外の方でも大歓迎！)

京阪電車主要駅／京阪シティーモール／京阪モール／テリスタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋／ブックファースト梅田店／旭屋書店 本店／旭屋書店 梅田地下街店／旭屋書店 堂島地下街店／ジュンク堂書店 大坂本店／ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店／リプロ 梅田阪神店／ブックファースト 淀屋橋店／文教堂書店 淀屋橋店／福家書店 淀屋橋店／天牛書店 大江橋店／紀伊國屋書店 本町店／ジュンク堂書店 天満橋店／アバンティ BC OMM ビル店／紀伊國屋書店 京橋店／府立中之島図書館／専門学校中の島美術学院／朝日カルチャーセンター／大阪大学中之島センター／大阪倶楽部／大阪国際会議場／市立住まい情報センター／大阪商工会議所／宗是そば／喫茶 大大阪／ネイルサロンスナ／N4タワー マンションパビリオン／ホテルNCB／ザ・メロディ／なんば書店カルチャーコーナー その他、取材協力先



中之島の住友病院で
産まれたんです

「ネイルサロン スワン」の門田慶子さん

あの頃あつたら、
 適塾通いも
 楽だった。
 福沢諭吉



福 沢 諭 吉

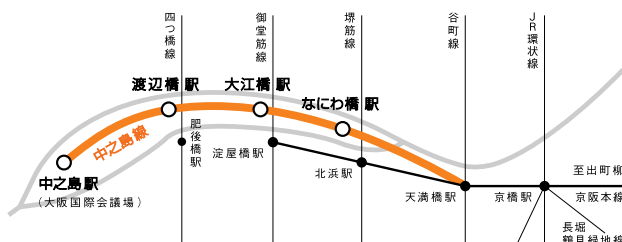
『学問ノススメ』の著者、慶應義塾の創立者として有名。生まれは中之島。玉江橋の北詰にあった中津藩蔵屋敷で誕生。そこにはいま「生誕の碑」が立つ。適塾で緒方洪庵から学んでいる。

笑福亭 仁鶴

シマへ行こう。

中之島の歴史に、新しい1ページを記す日。

福沢先生。あなたの生まれたお屋敷があった中之島が、いま、大きく動いています。エネルギーが満ちています。そんな時代に、京阪電車は、中之島線を開業しました。このシマが「水の上の新都心」へ姿を変える日へむかって。一緒に走って行こう、と思います。



10月19日 京阪電車 中之島線 開業!
 nakanoshima-line.jp